

1

詩篇34篇1～3節

【わたしは常に主をほめまつる】

G C G
わたしは常に主をほめまつる

G Em A D
その賛美はわたしの口に絶えない

G C G
わがたましいは主によって誇る

G A7 D G
苦しむ者はこれを聞いて喜ぶであろう

C G A7 D
わたしと共に主をあがめよ

G C G D G
われらは共に主をほめたたえよう

【あなたをたたえ】

G G/A Am
あなたをたたえ

D C G G/B Em
あなたの御名かけ

G/A A C/D D C/D D
どんなときも 感謝するため

G G/A Am D C G G/B Em
あなたを愛し そのみもとで拝し

G/A A C/D D G
従うため 造られた

[あなたの御顔を]

G D/F# Em /D C Dsus4 D
あなたの御顔を 慕い求めます

G D/F# Em /D C D G
心を 尽くして あなたを愛します

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルの成長のため
- 教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
- 魂の救いと地域の伝道のため
- インターネット YouTube が用いられるように。
- 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- ライフアートスタジオのこれからのため
- ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室
- クリスマス・アルバム「Room For Christ」のため

5. 日本と世界の平和を願って...

- 日本の国の霊的回復とリバイバルのため
- アジアの緊張関係にあって日本が用いられるように
- アメリカ大統領とこれからの世界情勢のため
- イスラエルの平和のため



瀬戸カルバリーチャペル
Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネによる福音書14章9～14節

9 イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。

10 わたしが父におり、父がわたしにおられることをあなたは信じないのか。わたしがあなたがたに話している言葉は、自分から話しているのではない。父がわたしのうちにおられて、みわざをなさっているのである。

11 わたしが父におり、父がわたしにおられることを信じなさい。もしそれが信じられないならば、わざそのものによって信じなさい。

12 よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。

13 わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。

14 何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。

ヘブル人への手紙11章6節

信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

質問

Q1. 「わたしを見た者は、父を見たのである」とはどのような意味でしょうか？

Q2. 「わたしよりもっと大きいわざをする」とはどのような意味でしょうか？

Q3. 「なんでもかなえてあげよう」と言われたら、なにを私たちはお願いするのでしょうか？

ヨハネ福音書14章で約束されている4P

1. Place(場所・すまい)
2. Prayer(祈り・願い)
3. Presence(聖霊によるご臨在)
4. Peace(イエス様の平安)

4 みことばの解説

「心を騒がせないがよい」で始まるキリストの告別メッセージは、「勇気を出しなさい」で終わります(ヨハネ14～16章)。その間、イエス様は(分かり易く解説すれば)4つの P=を教えられました。1つめは「PLACE(場所)」です。私たちの立ち位置を、現在を含め未来まで固めてくださいました。やがて「天のすまい」が待っていますが、それまで父なる神様の懐に直結している、「道・真理・いのち」の上に立つ。これが立ち位置(Place)です。

どのように「立つ」のでしょうか？それは二番目の P=PRAYER(祈り)を通してです。祈りとはなんでしょうか？それは信じることです。

(1)イエス様が父なる神様と共にいて、父なる神様がイエス様と共にいることを信じる

(2)イエス様のしているわざ(業)を私たちもすることができると信じる

(3)イエス様の名によって願うことは何でもかなえられると信じる

イエス様はその生涯において、いつも父なる神様の御心を行い、父から聞いたことを語ってきたと言われました。それは自分にではなく、いつも父に栄光が返されるためでした。その親しい交わりと信頼関係の中に私たちが生きることが最も大切な信仰であると教えられたのです。

そして、イエス様が父のもとに帰られる理由は、その御業を今度は残された者たちに託すためでした。私たちが神様に栄光をお返しするならば、イエス様と同じ、いやそれ以上のことができる！とは驚くべき約束です。

ですから大胆に、なんでもお祈りしてお願いしていいのです。御心であればそれはかなえられます。今日、あなたの心にはどんな願いごとがあるのでしょうか？